



「第24回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞」

冷蔵倉庫業界の脱フロンに期待



環境大臣
山口壯



経済産業大臣
萩生田光一

表彰に寄せて

第24回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞が成立し、2050年カーボンニュートラルを宣言するに心よりお祝い申し上げます。今年5月に改正地球温暖化対策推進法が成立し、2050年カーボンニュートラルを実現するための新たな仕組みが盛り込まれました。また、2030年には温室効果ガス46%削減を達成するための新たな地球温暖化対策計画実現に向けて、一層の取組を進めています。環境省は、フロン類を使わない自然冷媒機器の適正な管理(漏えいの防止等、回収、再生及び破壊の取組を一層推進していくことで、この取組が、冷蔵倉庫業界におけるオゾン層保護・地球温暖化防止の取組を牽引する好事例となることを期待しています。この度は誠にありがとうございました。

この度、オゾン層保護・地球温暖化防止大賞を受賞された皆様に心よりお祝い申し上げます。世界的な脱炭素化の流れが加速する中、我が国は昨年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。また、政府は温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていくことを表明しました。これまでの活動が大いに評価されました。

この度、オゾン層保護・地球温暖化防止大賞を受賞された皆様に心よりお祝い申し上げます。指す基本理念として法に位置づけられるとともに、その実現に向けた動きが加速しています。本年5月に改正地球温暖化対策推進法が成立し、2050年カーボンニュートラルを宣言するに心よりお祝い申し上げます。今後、脱炭素社会の構築に向けて、各社の事業の発展にもつながっていくことを期待する」と述べた。閣僚会議委員長(産業技術審査委員会特別賞)とでオゾン層保護、温

代替フロン削減に大きく寄与

この度、オゾン層保護・地球温暖化防止大賞を受賞された皆様に心よりお祝い申し上げます。指す基本理念として法に位置づけられるとともに、その実現に向けた動きが加速しています。本年5月に改正地球温暖化対策推進法が成立し、2050年カーボンニュートラルを宣言するに心よりお祝い申し上げます。今後、脱炭素社会の構築に向けて、各社の事業の発展にもつながっていくことを期待する」と述べた。閣僚会議委員長(産業技術審査委員会特別賞)とでオゾン層保護、温



経済産業大臣賞や環境大臣賞など6賞が授与された

第24回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞(日刊工業新聞社主催、経済産業省・環境省後援、日本冷媒・環境保全機構協力)の贈賞式が6日、東京・霞が関の霞山会館で行われた。経済産業大臣賞、環境大臣賞、優秀賞、審査委員会特別賞の計6件が授与され、受賞者は卓頭の研鑽や創意工夫が報われ、喜びひとしおのようだった。経済産業大臣賞、環境大臣賞、優秀賞、審査委員会特別賞の計6件が授与され、受賞者は卓頭の研鑽や創意工夫が報われ、喜びひとしおのようだった。経済産業大臣賞や環境大臣賞など6賞が授与された

第24回オゾン層保護・地球温暖化防止大賞(日刊工業新聞社主催、経済産業省・環境省後援、日本冷媒・環境保全機構協力)の贈賞式が6日、東京・霞が関の霞山会館で行われた。経

済産業大臣賞は「世界の環境問題に対する取り組みを引き続き推進したい」と今

の環境問題に対する取り組みを引き続き推進したい」と今

の環境問題に対する取り組みを引き続き推進したい」と今</

環境大臣賞

横浜冷凍



自然冷媒冷凍機

自然冷媒 使用／屋上太陽光発電も推進

横浜冷凍は1948年に創業し、冷蔵倉庫事業と食品販売事業を手がける冷蔵倉庫は北海道から鹿児島まで49拠点を構え、収容能力は国内2位の95万tを誇る。またタリ組んでおり、収容能力は同国シでも冷蔵倉庫を構えており、冷蔵倉庫の脱フロン化では、現在も一般的にフローナン化されています。

審査委員会特別賞

日本冷凍空調学会

低GWP冷媒の熱物性情報の整備

日本冷凍空調学会は、地球温暖化係数(GWP)の低い冷媒の熱物性情報をまとめた。新規低GWP冷媒候補物質に関して、信頼でき熱物性値を日本から発信することを期待される。これがプロジェクトのメンバーや、八つの候補物質に含まれた約10年の取り組みにより、冷凍空調機器や循環型の経済社会システムについて熱物理的性質熱物性に関する正確なデータをアップしている。

普及促進へ日本から発信



「人」に
「もの」に
「地球」に優しい
食品流通のエキスパート

yokorei

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい4-6-2 みなとみらいグランドセントラルタワー7F
TEL: 045-210-0011 (代表) FAX: 045-210-0018 URL: https://www.yokorei.co.jp

経済産業大臣賞

日立プラントサービス 日本熱源システム



日立プラントサービスと日本熱源システムは、自然冷媒として二酸化炭素(CO₂)を用いる冷凍機と大型冷凍・冷蔵設備事業協業した。CO₂冷媒を使用した日本熱源システムの「スーパー・グリーン」シリーズは、サードパーティやメンテナンスサービス、リニューアル

一酸化炭素を用いる冷凍・冷蔵設備事業の協業

三菱重工サーマルシステムズと中部電力は、地熱源循環加温ヒートポンプ「キュートン・サーキュレーション」を開発した。ホタルやステンレス浴槽や機械工場の生産プロセスで使う循環水を作る。

低GWP冷媒を用いた空気熱源循環加温ヒートポンプで、冷媒にR454Cを日本で初めて採用した。ガスボイラに比べてランニングコストは67%減、エネルギー消費量は52%減を実現した。発売以降、既存ボイラ機からの更新や新規設置として受注台数も着実に増加している。さらに、2台の圧縮機を直列に接続した一段圧縮機によって、外気温度でも75°Cのお湯が出るような冷媒特性を持つ。

さらに、20度Cで150W以下を満足する。さらに、20度Cで150W以下を満足する。

さらに、20度Cで150W以下を満足する。

さらに、20度Cで150W以下を満足する。